

第 122 回 日本眼科学会総会
イブニングセミナー 8

日時：2018 年 4 月 19 日 (木) 17:45 ~ 18:45
会場：第 10 会場 リーガロイヤルホテル大阪 3 階 光琳 3

最先端技術の融合で 何が変わる？ Part 2

Navigation Laser along with
OCT-Angiography

座長

前野 貴俊 先生

(東邦大学医療センター佐倉病院眼科 教授)

演者 1

橋本 りゅう也 先生

(東邦大学医療センター佐倉病院眼科)

演者 2

坪井 孝太郎 先生

(愛知医科大学眼科学教室)

演者 3

Francesca Amoroso 先生

(CENTRE HOSPITALIER INTERCOMMUNAL DE CRÉTEIL)

座長のことば

今や OCT による三次元画像診断は必要不可欠な検査といえますが、この 4 月より新たに OCT・Angiography が保険収載されることになりました。

今回ご紹介する XR Avanti with AngioVue Imaging System (OptoVue 社) は、ソフトウェアの大幅なアップデートによって、さらに広範囲でより鮮明な OCTA 画像を短時間で取得することが可能となりました。黄斑疾患を中心に、臨床現場における役割は増々重要になってくると思われます。

一方、Navilas® (OD-OS 社) は、これまでの光凝固装置の概念を覆す眼底カメラベースの機器であり、事前に治療部位を決定し、その計画をアイトラッキング機能によって正確に実行することを可能にしました。また施術前に、本器で撮影した眼底画像に OCT・Angiography、網膜厚マップおよび広角眼底 FA 等の検査画像を自動合成することが可能です。これにより治療部位を明確にすることが可能で、また照射部位への命中率が大幅に向上した結果、黄斑疾患で抗 VEGF 注射の回数を減じる可能性が指摘されています。

3 名の演者の先生には、それぞれの機器の具体的な使用経験についてご講演いただきます。本セミナーの『最先端技術の融合』が、ご参加いただく先生方の明日からの診察・治療に役立つことを願っております。

ACURA

共催：第 122 回日本眼科学会総会 / アクюра株式会社